6　芸術（音楽）

学校番号	１０１３

令和２年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	音楽Ⅲ　改訂版（教育出版）						
副教材等	自作教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を年間通して学習します。
・３年間の総まとめとして、今まで学習したことをいかした「自由課題発表」を行います。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽が、生涯ずっと、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	観察 ワークシート	観察 ワークシート	演奏の聴取 提出作品	観察 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	題材名	学習内容	主な評価の観点				題材の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	表現を深めよう	【歌唱】 ふるさと 海の声など	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 C:楽曲の表現内容を総合的に理解し、表芸意図をもって音楽表現するために必要な発声、読譜などの技能をみにつけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	アンサンブルの楽しみ①	【器楽】 サンダーバード 自作教材など	○	○	○		a:楽曲の表現内容や様々な表現形態による器楽の特徴に関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受し、表現上の効果を生かした音楽表現を工夫し、どのように演奏するか表現意図をもっている。 c:楽曲の表現内容や様々な表現形態による器楽の特徴を理解し、表現上の効果を生かした技能を身につけ、表現意図をもって創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	物語と音楽	【鑑賞】 トゥーランドット オペラなどの鑑賞	○			○	a:総合芸術である「オペラ」と他の芸術や文化とのかかわりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 d:登場人物の声の特徴、オーケストラの響き、旋律、声とオーケストラのかかわりを知覚し、楽曲や演奏を解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

2学期	アンサンブルの楽しみ②	【器楽】 自作教材 任意の曲	○	○	○		a:様々な楽器の音色や奏法に興味をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:様々奈楽器の音色や奏法の特徴をいかした技能を身につけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	卒業の歌	【歌唱】 想いでがいっぱい 卒業写真 卒業式の歌など	○	○	○		a:発音や音楽を形作っている要素や音楽の構造に興味を持ち、表現を工夫することに興味・関心をもっている。 b:表現意図を持ち、様々な技能を応用し、表現を工夫している。 ｃ：パートの役割を意識し、表現するための発声の技能をみにつけ、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	知的財産権	著作権について	○			○	a:音楽や音楽文化に興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。 d:楽曲や演奏の価値を考え、聴いている。	ワークシート
3学期	演奏発表会	【歌唱・器楽・創作】 個人・グループで選んだ楽曲や創作した曲を発表	○	○	○		a:グループ（または個人）で選曲、創作した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などをいかして、表現することに主体的に取り組もうとし、演奏会の企画・演出・運営をすることに意欲的である b:グループで選曲、または創作した楽曲の特徴、楽器の音色や奏法などを生かして、音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、または創作する表現意図をもっている。 c:創意工夫した音楽表現をするために、必要な歌唱や楽器、創作の技能をみにつけ、個性豊かに表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として、「歌唱」「器楽」「創作」の分野は a,b,c の３観点で、「鑑賞」の分野は a,d の２観点で評価をする。

※　年間を通して全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。